

# 中国主要遺跡紹介

## 新石器

●**半坡・姜寨遺跡** (陝西省西安市・臨潼県) 新石器  
半坡は1954~57年に発掘された環壕村落。姜寨は先史時代の聚落遺跡としては発掘面積が最大。仰韶文化の半坡類型前期のもので、B.C.4600~B.C.4400年前後。住居址や広場、窯跡を発掘。



彩陶魚面紋盆

●**河姆渡遺跡** (浙江省余姚市) 新石器  
1973~1977年に発掘。第四層の文化層は樹輪校正とカーボンデータによって約7000年前とされ、大量の栽培イネや石・骨・木・木製の生産道具が発見された。



刻花陶盆

●**良渚遺跡群** (浙江省余杭市周辺) 新石器  
1986年発掘の反山墓地からは2万m<sup>2</sup>余の人工の版築基壇が、87年発掘の瑶山からは祭壇と墓地の複合遺跡が発見され、各種の美事な玉器が多数出土している。



玉器の神人獣面図案

●**牛河梁遺跡** (遼寧省朝陽市) 新石器  
紅山文化期に属する5000年前の女神廟、祭壇、積石塚など。玉器のほか土製の人面像や腹部・臀部をデフォルメした裸体の女性像が出土。1983年発掘。



玉猪龍

●**若遺跡** (チベット、昌都県) 新石器  
紅土と石を積み重ねた住居址。チベット高原の新石器文化を考えるうえで重要な遺跡。アワを植え、ブタを飼っていた。



彩陶双体罐

## 夏・商(殷)・周

●**偃師二里头遺跡** (河南省偃師市) 遺跡の中心部で大量の大型・中型の版築基壇をもつ宮殿建築群を発掘。そのうち最大の1号宮殿は1万m<sup>2</sup>の面積、前庭や回廊をもつ。爵・などの青銅器を出土。



銅罍

●**偃師商城** (河南省偃師市) 商(殷) 1983年に発見された殷(商)の初期の都城。大城・小城・宮城の三重の城壁があり、五つの城門が確認されている。大城は南北1.7km、東西1.2km。



偃師商城東北隅城壁発掘現場

●**鄭州商城** (河南省鄭州市) 商(殷) 前期の二里崗期の都城。市の中心部に、周7kmに及ぶ大きな城壁が残る。城内では宮殿区のほか、青銅器・土器・骨器の工房区が発掘されている。



青銅円鼎

●**安陽殷墟** (河南省安陽市) 商(殷) 後期の都城。1899年以来、大量の甲骨文字を刻んだ卜骨や建築基壇・墳墓を発掘。近年は城壁も発見された。殷代の歴史・文化の研究を最も推進した遺跡。



象牙杯

●**三星堆祭祀坑** (四川省広漢市) 商(殷)



青銅人面像

二つの坑から眼の飛び出た仮面や金箔をはった人頭像、立人像など、これまでの殷の青銅器とは異質のものが多数出土。金の杖や玉器・象牙にも特徴がある。1986年発見。

●**豊鎬遺跡** (陝西省西安市) 西周 西周の都城、豊京と鎬京の遺跡、大型の版築基壇群や住居址、墳墓、車馬坑など。



張家坡157号墓南墓道輪軸跡

●**周原遺跡** (陝西省岐山県・扶風県) 西周 周王朝発祥の地。文王が豊京に都を移すまでの都城があった。宮殿址のほか多数の周墓を発掘し、銘文をもつ青銅器や文字を刻した卜骨を出土。



人守門方鼎

●**琉璃河燕国遺跡** (北京市房山区) 西周 西周前期の燕国の都城。城壁のほか、土坑や墓から「侯」の銘をもつ青銅器、甲骨を発見。



伯矩鬲

●**三门峡 国墓地** (河南省三门峡市) 西周

国の国君級の墓から太子墓、貴族墓などを発掘。列冊や銘文のある編鐘などを発見。



車馬坑

●**侯馬晋国遺跡** (山西省侯馬市) 春秋 晋国の後期の都城である新田(前585~前376)の地。鑄造の工房遺跡や晋の卿大夫が宣誓の辞を刻んだ盟書を発見。



龍紋銅方壺

●**浙川下寺楚墓** (河南省南陽市) 春秋 二十数基の墓と車馬坑。貴族墓からの青銅器には失蠟法で作られた細かな細工のものがみられる。

玉牌飾



●**曾侯乙墓** (湖北省随州市) 戦国 竖穴木槨墓。多数の楽器を出土。中でも65点の鐘をもつ青銅の編鐘は最も貴重。青銅器群から失蠟法の完成した姿がうかがえる。漆器・玉器・金器も多数出土。



漆豆

## 秦・漢

●**秦始皇帝陵兵馬俑坑** (陝西省西安市) 秦  
1974年に発見、以来現在まで発掘が続く。三つの坑から8000体にもなる陶製の兵士俑や馬俑を発掘。いずれも写実的で、また表情は各様、秦代の文化や軍制を考えるうえでこの上なく貴重。陵園からは、青銅車馬などが出土している。



站立將軍俑

●**漢長安城遺跡** (陝西省西安市) 前漢 前漢の漢王朝の都城。周25km、12の城門があり、城内の未央宮・長樂宮などの宮殿の配置や郊外の宗廟・社などの建物の跡も確認されている。



漢長安城未央宮椒房殿遺跡

●**馬王堆漢墓** (湖南省長沙市) 前漢 前漢はじめの長沙国の丞相侯の夫婦と子供の子供の三基の墓。大量の漆器・絹織物の他、「老子」などの帛書・帛画を発見。女性の湿屍が出土したことでも知られている。



帛画

●**灣城漢墓** (河北省滿城県) 前漢 中山王劉勝とその後の墓。1968年発掘。はじめて完全な「金縷玉衣」を発見。金メッキの長信宮灯、博山炉などが出土。



長信宮灯

## 隋・唐

●**隋大興城・唐長安城遺跡** (陝西省西安市) 隋・唐 面積84km<sup>2</sup>に及ぶ大都市遺跡。城壁、城門や宮殿、寺院、市場、街路などを発掘。



石茶碾

●**隋唐洛陽城** (河南省洛陽市) 隋・唐 隋の煬帝の創建した都市。周の王城と漢魏の洛陽城の間にある。白居易の故居遺跡も発掘。



洛陽龍門奉先寺天王と力士像

●**渤海上京龍泉府遺跡** (黒龍江省寧安市) 渤海国の都城。外郭城、宮城、皇城からなり、城内の配置も確認されている。唐文化との関係も注目される。



彩鷓鴣

●**乾陵陪葬墓** (陝西省乾県) 唐 唐の高宗李治と則天武后の陵墓の陪葬墓群17墓。永泰公主、章懐太子、懿德太子などの墓。壁画群が重要。



章懐太子墓壁画客使図

●**法門寺地下宮室遺跡** (陝西省扶風県) 唐 地下の秘窟から仏の指の骨を含む2000件にのぼる金銀器、宝玉、陶磁器、ガラス器などを発見。秘色青磁を出土。石碑には埋納品目録や寺の歴史が記されている。



左・挂錠銀香球  
右・金亀形銀盒

## 宋・遼・元・明

●**元大都遺跡** (北京市) 元 南北7600m、東西6700mの長方形の都市。元の世祖4年(1267)に創建。南部中央に皇城があり、その東の部分宮城になっている。南門は現在の故宫の太和殿の位置に、北門は現在の景山の地にあった。



影青瓷観音像

●**南宋官窯遺跡** (浙江省杭州市) 文献にいう郊壇下官窯の跡。窯跡や工房址を発掘。皇室専用的高级磁器を作っていた。



異耳瓷瓶

●**白沙宋墓** (河南省禹県) 北宋 三基の北宋の墓。磚で木造を模した作りになっている。当時の生活の様子を物語る壁画がある。



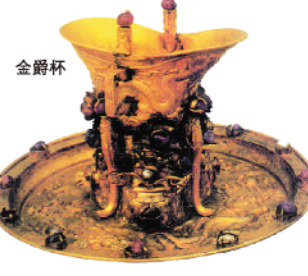
白沙宋墓1号墓前室東壁壁画

●**遼陳国公主墓** (内モンゴル自治区シャリム盟) 遼 契丹の皇室の夫婦合葬墓。遺体を包む金銀の宝飾品や金の仮面が出土。



金絲頭網金面

●**定陵** (北京市) 明 明の十三陵の一つ。万曆帝と二人の皇后の墓。皇帝の衣服や各種の冠が残されていた。



金爵杯